

3/25 地域のスポーツの発展に貢献 洞爺湖町体育協会表彰式

スポーツで活躍した個人、団体を表彰する令和2年度洞爺湖町体育協会表彰式が、洞爺湖町役場会議室で開催され、4人が表彰を受けました。表彰者は次のとおり。(敬称略)

△スポーツ優秀賞▽川越トレーニングジム 小野雅史、川越トレーニングジム 木藤大幹

△功労賞▽洞爺湖町パークゴルフ協会 甲野雅曠、スポンジテニス協会 金子誠子



表彰を受けた皆さん

3/19 コロナ対策のために 町内3郵便局マスクなど寄贈

町内の3郵便局（虻田郵便局、洞爺温泉郵便局、洞爺郵便局）が新型コロナウイルス感染症対策として町にマスク、ボックスティッシュ、非接触型体温計、アルコールスプレーなどを寄贈しました。

当日来庁した橋本崇人日本郵便(株)北海道支社胆振地区連絡会地区統括局長は「地域貢献の一環として、また、コロナ対策に尽力されている町の皆さんのために寄贈させていただきました」と話しました。



真屋町長(左)にマスクなどを手渡す橋本崇人統括局長(右)

3/30 洞爺湖町の魅力を発信 株式会社イーストデイリーテレビCMパネル寄贈

町は新型コロナウイルス感染症の影響により急減した観光需要を回復させるため、洞爺湖町の魅力と安心安全な温泉観光地であることを発信し、誘客の促進と地域経済の活性化を図ることを目的にCMを製作。

このCM製作を受注した株式会社イーストデイリー(阿部剛代表取締役社長)の戸松紗弥佳営業部長が真屋町長を訪問、CMを組み合わせた特製パネルを町に寄贈しました。



町に寄贈されたテレビCMパネル

3/26 障がい者を地域で支援 「さぽーとステーションゆうあい」オープン

社会福祉法人あぶた福祉会(夏目與市理事長)の地域生活支援拠点施設「さぽーとステーションゆうあい」が完成し、見学会を実施。施設には、車いすの介助が必要な人が専用の椅子に座ったまま入浴できる特殊な浴槽やトレーニング機器を備えた機能訓練室などが設けられています。

夏目理事長は「障がい者と地域の住民が仲良く交流できる場所にしていきたい」と期待していました。



トレーニング機器が設置されている機能訓練室

4/16 建設協会会員ボランティア
西山山麓火口散策路整備

洞 爺湖町建設協会（北島良人会長）は、西山山麓火口散策路の整備活動を行いました。同协会会员と役場職員合わせて37人が参加。散策路を訪れる観光客が安全に散策を楽しめるようにと、毎年この時期に実施しているボランティア活動です。

当日は、老朽化した杭の打ち換え82本、ロープの張り替え400本、モルタルによる歩道の補修を270か所実施。会員は、「観光客に楽しんでもらえるように」と汗を流しました。



杭の打ち換えを行う会員

4/1 福祉を志し、第1歩を踏み出す
社会福祉法人幸清会入社式

社 会福祉法人幸清会（大久保幸積理事長）が成香にオープンした「幸豊の杜・成香2021」で入社式を実施。今年度は、新規採用12人、中途採用7人の計19人が大久保理事長から辞令を受け取りました。

大久保理事長は「入所者が喜んでもらえるように120%の力を出してほしい」と激励し、新入社員を代表して岡嶋楓さんが「自分たちの持てる力を十分に発揮し、一生懸命頑張りたい」と誓いを述べました。



大久保理事長から辞令を受ける新入社員

4/21 噴火遺構の保全に貢献
有珠山噴火メモリアル委員会などが町に寄付

有 珠山の噴火遺構の保全活動を行っている有珠山噴火メモリアル委員会、560万人の観光地づくりを考えるワークショップが、町に現金を寄付しました。2団体は2001、2002年にかけて発足しましたが会員の高齢化などで解散するため、寄付を決めました。

寄付金を渡した会員たちは「必死に活動して多くの人が助けてくれた。団体はなくなりませんが、若い人たちが活動を継いでほしい」と期待していました。



真屋町長（左）に目録を手渡す会員たち

4/17 柳を使ってものづくり
森の文房具

財 田自然体験ハウスの自然ふれあい行事「森の文房具」が行われました。

乾燥させた柳の枝に鉛筆の芯を挿しナイフで先端を削って鉛筆を作ったり、板状にした柳の木を紙やすりで削り、飾り付けや絵を描くなどしてオリジナルのマグネットを作製しました。

参加した子どもたちは、「柳を削るのが難しかった」「ドリルで穴を開けたり、のこぎりで木を切るのが楽しかった」と話しました。



柳の枝で鉛筆をつくる親子